

|           |   |  |
|-----------|---|--|
| 科目名       | 中国文学講読（詩）Ⅱ  |  |
| 担当者       | 宮野 直也 / MIYANO, Naoya   |  |
| 科目情報      | 人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 2年次  |  |
| 科目概要      | 授業内容  | 唐詩の演習。Ⅱでは中唐、晩唐の詩を適宜採り上げる。担当者は一回につき絶句一篇を担当し、原文、書き下し文、語釈、通釈と、必要に応じて典故、事項、時代背景などの説明を含むレジュメを作成し、授業で説明して質問に応じる。 |
|           | 到達目標  | 漢和辞典を活用できるようになる。<br>漢字と漢文訓読に習熟する。<br>詩を表現技巧と構成に基づいて解釈し、その内容を説明する方法を実践で学ぶ。                                  |
| 授業計画      | (1) オリエンテーションと演習担当日程の決定<br>(2) 演習の見本<br>(3) 演習<br>(4) 〃<br>(5) 〃<br>(6) 〃<br>(7) 〃<br>(8) 〃<br>(9) 〃<br>(10) 〃<br>(11) 〃<br>(12) 〃<br>(13) 〃<br>(14) 〃<br>(15) 総まとめ |  |
| 自学自習      | 事前学習  | ・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。<br>・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。   |
|           | 事後学習  | 授業内容の復習。特に、分からない文字、熟語を漢和辞典で確認すること。   |
| 使用教材・参考文献 | 【教】教科書は特に指定しない。授業中に配布するプリントを用いる。<br>【参】小川環樹編 『唐代の詩人』 大修館書店 1975年<br>【参】植木久行編 『唐詩の風土』 研文出版 1983年<br>【参】野口一雄 『漢詩歳時記』 講談社 1995年  |  |
| 成績評価方法と基準 | <基準>演習の準備と発表の努力と結果が到達目標に相応しいと認められれば合格とする。<br><方法>演習 60% 出席態度 40%  |  |
| 備考        |   |  |